

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年11月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672900133
法人名	社会福祉法人九十九会
事業所名	グループホーム秋光園
所在地	鹿児島県日置市東市来町長里360-1 (電話) 099-274-3770
自己評価作成日	令和4年10月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム秋光園は2ユニットあり、どちらも日当たりのよい立地で団地内にありますが静かな環境にあります。法人のグラウンドが目前にあり地域の皆さまがグラウンドゴルフを楽しまれたり地域の運動会など開催されコロナ禍前はグループホームの入居者との交流の場としても活用していました。コロナ禍で外出や活動が制限されている状況にありますが、グループホーム内で楽しめる行事やイベントを計画し職員が工夫しながら実施している状況です。グループホームの入居者様は高齢化が進み、そこに備えた体制づくりや準備を進めながら看護・介護が連携を取りながら入居者一人一人がその人らしく笑顔で穏やかに生活できるように努めています。職員間のテーマ(今年度の目標)を年度初めに決めコンピテンシーや相手の立場に立って考え行動する等テーマに沿った研修や勉強会を開いたり、入居者への関りやケアを考える時の視点にしたりして取り組んでいます。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和4年10月26日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、閑静な住宅街に入った高台に位置しており、法人の特別擁護老人ホームやデイサービスセンターなどの介護保険事業所が併設している。法人のグラウンドは、地域住民に解放されグラウンドゴルフや地域の運動会に活用されるなど憩いの場所になっている。現在、外出を自粛されている利用者もグラウンドを眺め互いの時間を楽しみ、散歩をして気分転換を図るなどして過ごしている。

防災意識が高く、法人は地域と協定を締結してホームなども合同の避難訓練を実施、地域の方の協力や役割分担を明確にして実際に訓練にて体験をしていただいていたが、現在は、コロナ禍でもあり訓練は自粛している。事業継続計画

(BCP)については研修会などに積極的に参加し、災害や感染症など、リスク発生時に業務が中断しないために、また万が一、中断した場合でも、できるだけ早期に業務を再開させるために、平時からどう対処するか業務継続について準備しておくよう法人全体で取り組む体制を検討中である。

職員は、夏祭りの雰囲気にしたホットプレート料理の提供やバイキング形式による食事の提供、食材の下ごしらえ(皮むきやつぶし作業など)や手作りケーキの飾り付けなどを手伝っていただくなどして、季節を感じてもらったり、興味、関心を維持していただき食事が楽しめるよう工夫しているが、介護の重度化もあり時々ではあるが、配食サービスを利用せざるを得ない状況もある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の共有はもちろん、理念とは別のテーマを作りどちらの部分も考えながら実践していってます。	管理者や職員は、ホーム理念とは別にテーマを決めて目標に向けて実践している。理念は、年度末に振り返りをおこない話し合っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	コロナ禍でなかなか地域との関わりや交流の場が作れていないのが現状です。	自治会長とは、電話で情報交換をおこない関係性が途切れることがないようにしている。グランドでは、地域の方がグランドゴルフを楽しんでいるが、入居者の目の保養だったり、気分転換や心の癒しになっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	コロナ禍で以前のような活動ができていないですが、以前は法人の夏祭りや地域の方との合同の防災訓練、いきいきサロンへの参加などありました。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月で実施し自治会長や民生委員、他事業所の管理者、市の担当者や入居者様ご家族に参加してもらい幅広い意見交換や情報交換ができています。	運営推進会議については、コロナ感染症の状況変化に応じて、通常通り開催したこともあったが、現在は書面会議にて意見交換を実施している。無作為に抽出した家族からの意見や他メンバーの意見を参考にして出された意見は事業所運営に活かすよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議のなかで近況の状況報告を頂いたり書面でアドバイスを頂いています。	市担当者や福祉事務所職員との日常的な連携があり、運営推進会議を通じて情報交換をおこない、必要に応じて指導・助言をもらい、相互に協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3ヶ月に1回の身体拘束廃止検討委員会を開催し、現状の確認や見直し、代替案などを話し合い必要性を検討していています。	会議は定例化され、センサーマットの使用について漫然と使用することがないように、廃止に向けて検討している。日置市自己チェックシートがあり、意思統一を図り、虐待防止や権利擁護に関する研修会への参加をおこなうなど職員全員で取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	GHで高齢者虐待防止の指針を整備し研修や勉強会の中で入居者様の人権や職員の虐待防止に関する自己チェックなど活用しながら虐待防止への理解を深めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	関連の研修に参加したり情報を頂きながら学習しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前に契約に関する説明を行い、必ず書面に残し記録しています。改定後は再度説明を行い同意書などを準備して同意、理解を得ています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議参加時、面会や受診時・電話対応など意見交換や相談できる機会をつくり要望に答えられるように努めています。	運営推進会議では、広く家族の意見・要望を聞くよう努めており、出された意見は、運営に活かすようにしている。日々、電話や面談にてコミュニケーションを取り情報共有を図るよう取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者と職員間で意見交換の場を設けたり、必要時は理事長や施設長からの説明の機会を作り直接意見を伝える場を設けています。	新任職員については、1、3、6ヶ月、1年とアンケート調査を行い、管理者との面談を実施している。また、定年後、有償介護ボランティアとしての登録制度を設けており、現任者も無理のない働きやすい職場環境を整備している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各職員のライフスタイルに合わせた勤務時間や勤務調整を行っています。処遇改善についても自己評価などを用いてその都度見直しを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホーム内での勉強会、個別の面談などで個々のスキルアップに努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市のGH協議会やケアマネ協議会に加入し、研修や会議に参加し交流や情報交換を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に面談や情報収集を実施し、落ち着くまでは出来る範囲でのご家族のサポートや環境整備に努め連携体制を作り安心して過ごせるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前の面談や情報収集に加え、入所当日に担当者会議を実施しご家族からの要望や状況に応じた体制づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まずはGHで出来る事、出来ない事を明確にし本人やご家族の意見を聞きながらその時の本人にとって大切なものを見極めながら実施出来るように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の嗜好や出来る事に目を向け、簡単なお手伝いやホームでの居場所や役割作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍でも窓越し面会やリモート面会などで顔を合わす機会を作り関係性の維持に努めています。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍で外出はできず、会う機会も減りなかなか難しいのが現状ではありますが、リモート等を活用しながらできる範囲での対応に努めています。	家族などに向けた暑中見舞い、年賀状などは本人との絆や関係性が途切れることがないように配慮しており満足を得ている。外出を自粛しているため、花見見物などは車窓から楽しんでいる。また、今年12月に百歳の誕生日を迎える方については、一時帰宅を検討している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	各棟ごとの入居者で行う行事やイベントを計画し、入居者同士の交流や関係づくりに努めています。			
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所時に限らず退所後も相談や要望がある場合はいつでも遠慮せず連絡してほしいと伝えています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の関わりのなかで本人からの要望や思いを聞いたり、本人目線での環境整備や検討をするように努めている。	入居前の生活の継続を意識した生活環境や本人のしたいこと、好きなことが反映できるよう本人や家族、職員から情報収集をおこない本人の思いに寄り添い、本人本位に検討するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報や本人、ご家族からの聞き取りからの情報を参考に把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察や記録をしっかりと行い、状態変化などへの早期発見や対応の検討に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員同士は申し送りや連絡ノートで情報の共有を図り、毎月のグループワークや定期的なモニタリングでケアの見直しや検討を行っている。必要時は看護師などへ相談、アドバイスを頂き介護計画を作成している。	職員は、個別カンファレンスや担当者会議などで目標達成に向けて検討し、本人の生きがいや役割を意識した介護計画書を作成するよう努めている。家族には対面で説明したり無理な場合などは電話にて説明、同意を得て本人らしい生活に繋がるよう取りくんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の観察から気づいた点や変化は個別の台帳に記録し、グループワークや会議などで報告や意見交換を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様の高齢化やそのご家族の高齢化など現状に適した新しい支援の形、行事ごとへの取り組みなどを考えて実践している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍で外に行く機会や交流の場などが作れていないのが現状です。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族の要望もふまえつつ主治医やかかりつけ医を決め毎月の訪問診療を受けている。症状や状態に合わせて専門医への相談も行っている。	協力医療機関や精神科との連携があり、訪問診療を受けている。看護師が配置されており、薬剤師との医療連携や他科受診など家族と連携している。緊急時などは、24hオンコール体制にて対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>気づいた点や変化を看護師へ報告、相談し情報の共有や意見交換ケアの見直しや健康管理に努めています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は状態確認や退院後の生活について病院の相談員や看護師と連絡を取り準備体制を作ります。ご家族の要望なども病院へお伝えし相談、対応できる連携体制づくりに努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所契約時に管理者から説明しています。状況に応じて本人やご家族の意思を確認し、相談や要望を聞きながら協力病院との体制づくりに努め出来る事と出来ない事をしっかり説明しています。</p>	<p>契約時、重度化や終末期ケアのための指針を説明し、急変時の延命治療の方針を含め、重度化、看取りに関する意思確認を文書にて取り交わしている。事業所の体制を踏まえ方針を共有し、ホームででき得る最大のケアについて取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故や急変に関してマニュアルを作成し、看護師との連携体制や研修や勉強会などで確認しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>法人全体での防災訓練や地域と協力しながら防災訓練を実施しています。</p>	<p>法人は、地域と防災協定を締結しており、年1回自治会と合同で避難訓練を実施、ホームも参加していたが、現在は自粛している。また、備蓄は、単独でも備えており賞味期限を確認して調理に活かし防災意識を高めている。自動通報装置があり、自家発電機を購入するなど停電対策をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	普段の声掛けが慣れ合いにならないように注意し、毎回ケアの前に入居者への声掛け、説明を行いながら介助を実施しています。	接遇マナー研修が充実され、職員の意識向上を図っている。特に認知症ケアにまつわる本人の人格の尊重、プライバシー保護に配慮したケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	行事ごとへの参加の有無や洋服の選択など些細な事でも選択の自由を尊重し自己決定できるように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	声掛けしながらその日の状態や気分を確認し、入居者様のペースに合わせた対応に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服の好みや化粧、白髪染めなど本人からの要望に沿った対応に努めています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の提供をバイキング形式にしてみたり、入居者様の嗜好に合わせてたりしながら提供している。	重度化があり介護に係る時間が増えたことで、今年8月から時々であるが、配食サービスを活用している。野菜の皮むきやつぶし作業など食材の下ごしらえを手伝ってもらったり、ケーキの飾り付けをするなど職員と一緒に準備をして食の関心や興味を引き出している。行事食や特別食を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	肉や魚をメインに偏らないようにメニューを考えながら提供している。水分もゼリーや味付けを変えながら飽きがこないように努めて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、能力に応じて声掛けや介助により口腔の清潔保持に努め定期的な歯科受診はご家族と連携し受診しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンや状態に合わせて見直しやパットの使用も検討しています。状態によってはリハパンから普通パンツへ戻す方もいます。	排泄のリズムを把握し、洗面台やトイレが設置されている居室に誘導し、プライバシーに配慮して他利用者を気にすることなく排泄ができる環境がある。オムツ対応の方のオムツの使用状況や家族への説明などを含めカンファレンスで検討し実践している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量や食事を工夫しながら出来るだけ自然排便を促しています。便秘傾向の方は主治医や看護師へ報告、相談し薬の調整を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2～3回の入浴を実施しています。職員が1対1で対応しゆったりと入浴を楽しめるように配慮しています。	概ね週3回程度の入浴支援をおこなっているが、必要性や本人の希望に合わせて柔軟に取り組んでいる。入浴剤の活用や取り外し可能な手すりの設置、職員の応援体制もあり安全に気持ちよく入浴ができるよう取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の状態や希望に応じて寝具や室温調整を行い安眠できるような環境整備に努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が中心となって主治医やご家族と相談しながら服薬支援を実施しています。変更時は申し送りやチェックボードを使用して情報共有を行います。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の生活歴や嗜好に合わせた簡単な活動やお手伝いを考えながら支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍でご家族との外出支援は行えていません。コロナの感染状況もみながら必要時は受診の家族対応も検討しながらコロナ禍での1つの外出支援として取り組んでいます。	コロナ禍であり法人の方針もあることから、外出は控えている状況ではあるが、敷地内の散歩を勧めて気分転換を図ったり、ドライブにて車窓から季節を感じてもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在入居者で金銭管理をしている方はいません。ご家族の同意のもとにお小遣いを預かり使用した際は家族へ報告しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者の希望があればご家族へ説明し電話の支援を行っています。こちらから、暑中見舞いや年賀状などを作成しご家族へ送付しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室は入居者の希望や動線を考えた配置になっています。共有スペースは季節感を感じられるような飾りや掲示物を置いたり写真などを掲示して目でも楽しめるように工夫しています。</p>	<p>玄関外によく手入れされたプランターの花々を配し、共有スペースには季節の生花が活けられている。ソファや座椅子にてくつろぎ、廊下は広く長椅子が設置してある。壁には季節を感じさせる装飾や行事の写真などが掲示され温かみのある空間である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>廊下や窓際にソファや椅子を準備し日光浴や談笑を楽しめるように配置しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の写真や在宅で使用していたものを置いたり一人一人が落ち着いて過ごせる環境づくりに努めています。</p>	<p>入居前の生活環境を再現し、炬燵を配置し好きなテレビ観賞ができるよう配慮した利用者がおられたり、思い思いに馴染みの品を持ち込み居心地よく過ごせるよう支援している。居室は、トイレ、洗面台が配置され活用されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>本人の状態や動線に合わせた配置を考えながら出来る限りの環境整備に努めています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない